

おうちの図工室・美術室

「あ」だけでは足りない「あ」

対象学年 高校1年生～高校3年生

想定時間 最低2時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

普段みなさんは、「あ」って言いますか？意識して言うことはないけれど、うっかり言いませんか？物を落として「あ」 納得したときに「あ」 考え事するときに「あ」でもこれ、文字に表してしまうと、すべて「あ」。イマイチ意味が伝わりません。実は、ことばだけで伝わる情報はあまり多くありません。感情などの微妙なニュアンスは、身振り手振り、表情、声の調子などによって伝わっていることが多いのです。今回はパラパラ漫画の要領で、いろいろな「あ」をアニメーションにして作ってみましょう。そして、どれくらい「あ」のニュアンスが伝わるか試してみましょう。

- 使うのはひらがなの「あ」です。すべての場面で読めなくてもよいです。パラパラ漫画の要領で「あ」をニュアンスが伝わるように動かしてみてください。
- 描画材料は自由です。着色したい人は着色をしてもかまいません。
- 今回、枚数は10枚程度とします。コマ送りの秒数は自由です。
- 作ったパラパラ漫画を写真にとって動画にします。動画編集のアプリを持っていない場合は先生に画像データを送ってください。その場合は1コマ0.2秒でアニメーションにします。
- 最後に、動画に合う音をアフレコ（アフターレコーディング）します。画面の動きに合わせて「あ」を声で表現してみましょう。声を加工しても面白いですね。思いついたこと、いろいろチャレンジしましょう。誰も思いつかないような、みんなを「あ」と言わせる作品をお待ちしています。

ANCSとしてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

深く見つめる

日常の何気ないしぐさや、人や物の動き、声のトーンなどに注目して、アニメーションに表す活動を通じて、自分や自分の周囲の物事をじっくりと観察して考えます。

共感性

非言語コミュニケーションに着目することで、ことば、文字だけでは説明しきれない部分にどれだけ多くの情報が込められているか、表現を通して考えます。

三観点

知識・技能

動きの特徴や声の調子にあう色や形、描画材料や構図や動きの工夫をして、表現することができる。

思考・判断・表現

自分なりにアニメーションの特性を生かして面白い表現を生み出すことができる。

主体的に学習に取り組む態度

同じ音、記号である「あ」が持ちうるさまざまなニュアンスの可能性を考え、自身の表現に生かそうとする。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば

文字に少しの工夫を加えるだけで、
伝わるのが広がるのが面白い

日ごろから何か
を生み出してい
る方々のすごさ
を感じました

書く時間よりも
考える時間の
方が長くなりま
した。



あ あ あ あ あ あ あ の の の の の の の の の の の



あとで見返すと
うまく伝わらな
いようにも思え
ました。

- 「あ」という1文字でも、形や動きで表情が大きく変わることがわかりました。また、一つの動作を表現することでさえ、とても難しいということがよくわかりました。難しく考えすぎるのではなく、シンプルに「あ」と発する日常の場面を考えて、その時の気持ちを想像しながら作品をつくりました。身近な SNS でも絵文字やスタンプをよく利用しますが、文字に少しの工夫を加えるだけで、伝わるのが広がるのが面白いと感じました。
- こうしたものを創るのが初めての経験だったので、つい難しく考えてしまい、とても長く考えてしまいました。発想することの難しさを改めて感じ、日ごろから何かを生み出している方々のすごさを理解することができました。
- お題が難しすぎて、書く時間よりも考える時間の方が長くなりました。しかし、いつもとは違う感覚で絵が描けて楽しかったです。
- 伝えたいことを意識して作ったつもりですが、あとで見返すとうまく伝わらないようにも思えました。
- 実話をもとにして「放心状態」をテーマに表現しました。絶望・放心の「あ」です。心がまだある部分はペンで描き、放心状態になったときはシャーペンで描きました。

※実際に高校生が制作した「あ」のアニメを HP で見るができます。